

モンゴル国ウムヌゴビ県ツォグトツェツィー郡での 風力発電所の建設について ～モンゴルの持続的な経済発展に貢献～

ソフトバンクグループの SB エナジー株式会社 (代表取締役社長: 孫 正義、以下「SB エナジー (エスピー エナジー)」) とモンゴルの Newcom LLC (本社: モンゴル国ウランバートル市、Chairman: Boldbaatar Tserenpuntsag (ツェレンボンツァガ・ボルドバートル)、以下「Newcom」) による合弁会社である Clean Energy Asia LLC (本社: モンゴル国ウランバートル市、代表取締役社長: Gankhuyag Dagva (ダグワ・ガンフヤグ)、以下「Clean Energy Asia」) は本日、国際協力機構 (JICA) と欧州復興開発銀行 (European Bank for Reconstruction and Development、以下「EBRD」) とともに、モンゴル国ウムヌゴビ県ツォグトツェツィー郡での出力規模 5 万 kW (50MW) の風力発電所建設プロジェクト (以下「本プロジェクト」) にかかる融資契約を締結しました。

Clean Energy Asia はモンゴルに設立された特別目的会社 (SPC) で、モンゴルで通信事業、不動産事業、エネルギー事業を行うコングロマリット企業である Newcom が株式の 51% を保有し、49% をソフトバンクグループの SB エナジーの子会社が保有します。

本プロジェクトは、モンゴル国内の電力需給逼迫の緩和への貢献および自然エネルギーの促進を目的として、モンゴル国ウムヌゴビ県ツォグトツェツィーに風力発電所を建設するもので、同国の持続的な経済発展および気候変動の緩和に寄与します。Clean Energy Asia が発電事業者となり 2017 年 12 月の運転開始を目指します。

現在、モンゴルでは国全体で 113 万 kW (1,130MW) の電源設備容量が設置されていて、その電源構成^{※1} は石炭火力 88%、ディーゼル 6%、自然エネルギー 6%、水力 2% と自然エネルギーの割合が低くなっています。また、同国においては経済成長にともなう電力の需給逼迫が喫緊の課題であるとともに、気候変動の影響を受ける国としても 8 位^{※2} に位置付けられており、自然エネルギーなどの安心安全な電源の設置が必要とされる国の一つです。モンゴルでは 2015 年にエネルギーセクターの中長期目標・計画 (2015 - 2030 年) を定めた国家電力政策が国会で承認され、総発電容量に占める自然エネルギーの割合を 2020 年までに 20%、2030 年までに 30% まで引き上げることを目標とし、国際金融機関やドナー国と協力してエネルギー分野の投資促進を行うこと、ゴビ地域の豊富な太陽光、風力資源を活用することなどが定められています。さらに、同国政府は温室効果ガスの排出削減にも積極的に取り組んでおり、2 国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism: JCM) において、日本と最初に覚書の締結を行った国でもあります。このような状況の中で、同国では自然エネルギーの普及促進を進めるべく、ツェツィー風力発電所をはじめ、自然エネルギーを活用した発電所のニーズが高まっています。

※1 出典: モンゴル エネルギー省 (2015 年)

※2 出典: GERMANWATCH "Global Climate Risk Index 2014"

本プロジェクトは、JICA による自然エネルギー分野では初の海外投融資によるドル建てプロジェクトファイナンス案件であり、Newcom と EBRD にとっては 2013 年にサルヒットで運転を開始したモンゴルで初めての風力発電設備であり最初の民間発電設備である出力規模約 50MW の風力発電所建設に続くモンゴルで 2 件目の自然エネルギープロジェクトとなります。また、SB エナジーおよびソフトバンクグループにとってはモンゴルでの初の発電事業です。

孫 正義 SB エナジー代表取締役社長は以下のように述べています。

「当プロジェクトは、ソフトバンクグループによるモンゴル国内での自然エネルギー普及の第一歩です。当プロジェクトにより発電される電力はモンゴル国内の電力需要に向けモンゴル国内の送電網に接続され、モンゴルの電力安定供給に貢献できるものと信じています。また、ソフトバンクグループはこれで日本、インド、モンゴルで自然エネルギー事業基盤を持つことになります。ソフトバンクグループは今後もグローバルに事業を推し進め、自然エネルギーの普及拡大と CO2 排出削減という課題の解決に向けて貢献してまいります」

Boldbaatar Tserenpuntsag Newcom 会長は以下のように述べています。

「サルヒット風力発電をモンゴル国で唯一の民間風力発電事業者として立ち上げた Newcom は、モンゴル国での自然エネルギー分野への投資を継続することを誇らしく思います。ツェツィー風力発電所建設プロジェクトは Newcom によるインフラ強化と持続的な長期投資を通じた電力分野の自由化によるさらなるモンゴル国の発展への貢献策です。

Newcom は今回、ソフトバンクグループとの初の共同プロジェクトとなる当プロジェクトを通じて、両社のパートナーシップを発表できることを誇らしく思います。

世界的に著名な起業家でありビジネスリーダーである孫氏が創業し率いるソフトバンクグループは、自然エネルギーの開発を通じて、より持続可能で平和な世界の構築に従事しており、Newcom が、この取り組みの一部を担うことを嬉しく思います。また、国際的なパートナーである JICA、EBRD による本プロジェクトへの貢献とサポートについても感謝します。ツェツィー郡での風力発電プロジェクトは JICA における初めての自然エネルギー分野での民間投融資契約案件であり、EBRD では 2 件目のモンゴル国での風力発電における Newcom とのパートナーシップ案件で、モンゴル国の電力分野の発展に向けた目的の共有と貢献への明確な証拠であると言えます」

JICA は以下のように述べています。

「JICA はこれまでもモンゴルの電力セクターに対する継続的な支援を行っており、引き続き同国電力セクターに対する支援を継続し、同国の社会・経済の安定的成長を支えていく方針です。同方針を踏まえ、これまで第四火力発電所等への支援を行っています。

本プロジェクトでは、JICA と国際開発金融機関である EBRD とが協調融資をする形で、Clean Energy Asia が本プロジェクトを行う上で必要な資金を融資します。ライフサイクルコストや環境社会への影響に配慮し、現地雇用の推奨等を行うもので日本政府の推進する『質の高いインフラパートナーシップ』に合致するものです。

JICA は本プロジェクトを通じ、今後もモンゴルの電力セクターに対する協力を継続し、同国の社会・経済の安定的成長を支えていく方針です。また、各国・国際機関とも協働しながら今後も『質の高いインフラ投資』を推進し、モンゴルを含む開発途上国・地域の経済社会開発や気候変動緩和に貢献していきます」

Philip Bennett EBRD 第一副総裁 兼 COO は以下のように述べています。

「我々がモンゴル国における投融資を開始してから 10 周年という記念すべき年に、同国で 2 件目となる風力発電プロジェクトに対するファイナンスの調印を行えることを大変嬉しく思っています。長年にわた

るパートナーである Newcom と、新たなパートナーである JICA およびソフトバンクグループとともに事業を行えることを、特に喜ばしく思っております。本日の調印は、モンゴル政府との 8 年間にわたる持続的な協同作業に基づくものであり、また、モンゴル国における膨大な再生可能資源の開発を可能にする規制の枠組みの整備を促進するものです。我々は過去 10 年間に合計 14 億ユーロをモンゴル国の民間セクターに投資して来ましたが、サルヒットとツェツィーの 2 つの風力発電プロジェクトがこの中に含まれていることを、大変誇りに思っています」

SB エナジー、Newcom、JICA、EBRD の各社および各機関は、今後もモンゴル国での自然エネルギー開発事業の発展と電力インフラシステムの向上に貢献していきます。

■風力発電所の概要

所在地	モンゴル国ウムヌゴビ県ツォグトツェツィー郡
出力規模	5 万 kW (50MW) : 2,000kW×25 基

■完成イメージ図



■Clean Energy Asia LLC について

Clean Energy Asia LLC は 2012 年、Newcom LLC とソフトバンクグループで自然エネルギー事業を行う SB エナジー株式会社の合弁会社として設立されました。

■SB エナジー株式会社について

SB エナジーはソフトバンクグループ株式会社の 100%子会社であり、日本でも有数の発電量を持つ自然エネルギー事業者です。2016 年 9 月現在、大規模な太陽光発電や風力発電などの発電所を 26 カ所、30 万 8,600kW (308.6MW、日本の世帯数換算で約 9 万 6,000 世帯相当) の発電所を運営しており、自然エネルギーの普及と拡大を目指しています。

■Newcom LLC について

Newcom は国際的な専門知識と技術開発とともにモンゴル国でクリーンテクノロジーとインフラへの投資事業を行っています。Newcom Group はまた、情報通信、IT、金融、自然エネルギー、不動産、採鉱事業分野など、多岐に渡るポートフォリオを有しています。Newcom はウランバートル市から 70km の

立地に出力規模 50MW のモンゴル最初の風力発電施設を運営するほか、政府公認で国際支援機関から権利を得た 450MW の熱電併給設備「#5」を建設中です。本社はモンゴル国ウランバートル市。詳しくはこちら。

www.newcom.mn

■国際協力機構（JICA）について

JICA は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「すべての人々が恩恵を受けるダイナミックな開発」というビジョンを掲げ、多様な援助手法のうち最適な手法を使い、地域別・国別アプローチと課題別アプローチを組み合わせ、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

■European Bank for Reconstruction and Development（EBRD）について

EBRD は市場志向経済の発展と、モンゴル、モロッコ、エストニア、エジプトなど 30 カ国に渡る民間の起業活動の推進を行う国際金融機関です。本行は 65 カ国、欧州連合（EU）、欧州投資銀行（EIB）の出資により運営されています。詳しくはこちら。

<http://www.ebrd.com/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに掲載されている会社名および製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。